

三中だより

令和4年1月27日(木)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和3年度第11号 大田区中央4-12-8

新年あけましておめでとうございます。令和4年がスタートしました。みなさまそれぞれに新しい一年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。昨年度同様に、大森第三中学校の教育活動にご理解・ご協力賜りましてよりよい一年とじてまいりましょう。

さて、本年の干支は虎です。お正月といえば年賀状、賀詞のあいさつなどで多くみなさんが虎のイラストを目にしたことでしょうか。虎というと、勇猛果敢な印象があります。これにたとえて一年間を元気に過ごせるとよいですね。寅年には「決断力と才知」という意味もあるそうです。元気に駆け抜けられる一年となるよう、健康に気をつけて過ごしていきましょう。「虎は千里を往って、千里を還る」ということわざがあります。一日に千里の距離を走り千里を戻ってくる事ができるほど、すごい行動力をもっているという意味です。このように人やものがとても活発に動くということを喩えたものです。そうした行動力を発揮できる一年としてまいりましょう。また、このことばには、こどもを思う親の愛情を喩えた意味もあります。子どもが心配で、千里の道を遠出して必ずまた千里の道を帰ってくるという、愛情表現を喩えたものです。教育活動になぞらえてみると、見守り、子どもの様子を気にかけて寄り添っていくという感じでしょう。気をかけて細心の配慮をもって教育活動を展開していきたいと思えます。また、生徒たちにも、さまざまな大人がこうして気をかけて成長を見守ってくれていることを理解してもらい、健やかに成長していったほしいと思えます。また、今年の寅年は壬寅(み

ずのえ寅) だそうです。厳しい寒さを耐えれば命が芽吹く春がやってくるというイメージ だそうです。大変な体験をがんばれば、その体験をもとにした新たな芽吹きがあり、新しい成長につながっていく、そんな一年となるようにしてまいりましょう。

ところで、「虎は千里を往って、千里を還る」の千里はどのくらいの距離なのでしょう。もちろんことわざなので、厳密な距離を測ったものではないと思えます。ちなみに中国の喩えなので、中国の一里の距離を調べてみると、1里は500mです。ということで、計算すると、500kmということになります。ちなみに東京から500kmということになります。と、新幹線で京都くらいの位置です。「虎は千里を往って、千里を還る」を現代で考えるに、京都日帰りということでしょうか。そう考えると、現代では、ものすごい虎の行動力も人間の手中に入っており、我々はそれを当たり前で享受できているとも考えられます。また、今では当たり前になってきたオンラインなどを考えると、千里だろうが万里だろうが距離に関係なく、互いに時間を共有することが可能になっています。このように、新たな知識やテクノロジーを活用することで、ますます便利になってくる現代社会です。その恩恵にあずかれるようにしていくためには、新たな知識が求められます。そして、そういった知識をいかに活用して、自分自身の生活をよりよくしていくかという視点が大切です。知識とともにその活用の仕方や学び方を手に入れるということが、学校教育にも求められています。

さて、三学期は、新たな世界に向けてスタートをきる時期でもあります。千里先を見据え、気をかけて寄り添って、生徒たちのスタートを見守っていききたいと思えます。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	2/1(火)、2/8(火)、2/15(火)、2/22(火)
鳥海 真里	2/2(水)、2/9(水)、2/16(水)
田中 典子	2/4(金)、2/18(金)

※大森三中 相談室直通電話
(3773) 7831

2月の行事予定

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	
学年末 考査終				学年末 考査始	天皇 誕生日		都立一 次・前期 検査日 (3年給食 なし)		土曜 補習	避難 訓練	おたの 教育研 究発表 会						建国 記念の 日	社会科 見学(2) ・三社 会科見 学(1) 私立一 般入試 (3年給 食なし)					土曜 授業・5 時間 校内生 保護者 説明会	校内 作品展 始	区教 研(特 設)・ 展示 会準 備	都立 推薦 入試 発表 (3年 給食 なし)		

生徒会から今年のことば

生徒会長

明けましておめでとうございます。昨年は多くの方々に生徒会活動に協力していただきありがとうございました。今年は、各委員会とさらに協力し、さまざまな視点から、この学校を見て、よりよい学校を目指します。

令和3年度の生徒会では、校則の改定と、運動会の運営、部活動対抗リレーの企画運営などに取り組みました。部活動では、並び順決め、コース決めまで全て生徒会が行いました。また、リハーサルも行い、運動会当日の流れを確認することができました。また、後期生徒総会では、この学校で初めてである校則改定をしました。校則改定については、一昨年の生徒会から話し合い、先生方主導ではなく、生徒会主導で校則改定を考えたのが大きなポイントです。どの校則をどのように変えるのか、また、それによって生じる問題がないかまで考えて、校則を改定することができました。令和4年度では、前述したとおり、各委員会とこれまで以上に協力して、小さな問題も解決していく予定です。また、今年は、公約も果たしていきたいと思っています。具体的には、意見箱設置です。いままでは、生徒会で話し合える内容が多くありませんでしたが、意見箱を増設することによってみなさんの意見をより取り入れやすくして、改善していく予定です。また、コロナの状況によって、学習サークルなどを再開していきます。

最後になりましたが、令和4年は、昨年度できなかったことや、上手くいかなかったことを改善して、よりよい学校を目指していきます。そのためには、生徒会や、委員会だけでなく、みなさんの行動も大切なので、今年度もご協力をお願いいたします。



学習の成果～展示作品出品者をご紹介します。～

ものづくり教育・学習フォーラムは、1月15日(土)に体験コーナーとものづくり協議会を実施されました。出品者も予定されておりましたが、感染症拡大防止の観点から、開催規模を縮小して実施となりました。残念ながら展示部門が中止となりました。今回、出品予定だったの生徒のみなさんは次の通りです。

〈 Casting Key Holder 〉

1年

1年

〈 Link Robot 〉

2年

〈 Children's Toy 〉

3年

3年

3年

すてきな作品をつくってくれました。



また、連合書初展が1月22日(土)から28日(金)まで実施されました。感染症拡大防止の観点から、こちらも席書会を中止するなど開催規模を縮小して実施いたしました。こちらの作品は、池上会館に展示されました。本校からの出品者は次の通りです。

1年

1年

1年

1年

1年

2年

2年

2年

2年

2年

2年

2年

2年

3年

3年

3年

3年

3年

3年

3年

みなさん、素晴らしい作品をありがとうございます。

11月29日にオンラインで後期生徒総会を実施し、校則について検討しました。自分たちの生活に対して自ら考えて責任をもっていくという姿勢で学校生活に取り組んでいきます。